

保谷なおみ

703 ニュース vol. 11 平成 23 年 11 月 1 日発行



9 月定例会が開催されました！

食品の放射線量測定費用は一検体約 2 万円！

福島原発事故以来、市内の放射線量はどうか、もっと測定してほしいという、市民からの要望や意見が議会にも数多く出されました。

食品や土壌の検査については、空気中の放射線量測定に比べ、費用がかかるというのが大きな課題です。

議会の審査で明らかになったことは、食品の場合、測定費用は一検体 19,000 円かかるということです。

これを給食で考えますと、西東京市では小学校・保育園ごとに食品の納入業者が違いますから、小学校 19 校、保育園 24 園で、それぞれで測定しなければならないということでした。

一検体ずつ、全校・全園でやれば 817,000 円かかる計算になります。

給食の食材全部を毎日測定すると、年間で 20 億円以上かかる計算になります。

市民のみなさんからいただいている市税は約 300 億円ですから、いかにこの金額が大きいかわかります！

食品については、残留放射線量が基準値を上回るものは、市場に出回って

いないことが前提ですから、給食の食材の検査するというのは、安全とされているものを、念のためにもう一度検査していることとなります。

6 月より、西東京市では市内 6 か所で空気中の放射線量測定を週に一度おこなっています。

地上 5 センチでも測定しています。この高さだと、地表面に積もった放射性物質の影響をかなり受けませんが、問題になるような数値は出ていません。

西東京市には、数多くの軒先販売の野菜が売られています。これらも、東京都が数回抜き打ち検査を行い、基準値を超える野菜はなかったということも、議会の審査の中で明らかになりました。

市民のみなさんが放射能の健康への影響を心配するのは当然です。しかし、検査などには多額の費用もかかり、しかも、何十年間単位の話です。

やみくもに検査をするのではなく、費用対効果も考え、長期的視野にたつて対策を進めていくのが、責任ある行政の態度だと私は考えます。

● 下水道使用料改定！将来の市民負担を減らすため、 今回の値上げはやむをえないと判断しました。

下水道料金が 10 月から値上げになります。

4 人家族で 1 カ月 24 m³ 使用すると仮定して、1 か月あたり 185 円、年間 2,220 円の値上げとなります。

値上げは市民の負担増となりうることから、慎重審査が必要と考え、3 月議会で結論を出さず、6 月議会で最終的に判断しました。

西東京市の下水道会計は慢性的な赤字で、赤字を補てんするために一般会計から、18 億円もの税金が繰り入れられています。

下水道にかかる費用は使用料でまかなうものとされており、実際、高い使用料を徴収し、繰り入れなしの自治体が多摩地域にも 10 市以上あります。

下水道会計の赤字は、そもそも、下水道施設整備の際に国から借り入れた借金が今の水準からするとかなりの高金利（5%～7%）で、その返済にあてる費用が大きいことに依ります。

当然、低金利債への借り換えを求めています。いきませんが、その認可の条件、また、新たな借金の認可の条件として、使用料を高くし、一般会計からの赤字補てんをなるべく少なくすることを、国は求めています。

これに従わないと、国から低金利債の借入ができなくなり、結果的に将来の市民が大きい負担を負うことになるので、今回の使用料の値上げはやむをえないと判断しました。

9 月定例会報告（9/2～10/4）

● 補正予算 個人市民税 2 億 4000 万円の小幅な減額補正で、震災の影響はなし

9 月定例会では毎年補正予算の審議を行います。

当初予算は前年度の 2 月段階で作成するため、どうしても見込みと実態とのかい離が出ます。そのため、中間の 9 月で、一度見直しし、大幅に異なる場合は修正します。（「どんぶり勘定」では、年度末に歳出が歳入をはるかに上回り、「大赤字」というような事態になりかねません。）

さて、この 9 月議会でも、補正予算審査がありました。

当初予算は 3 月 11 日の東日本大震災前に作成されているため、震災の影響で大幅に税収が減るのではないかと、歳入不足になるのではないかと一部の議員が騒ぎたてました。

しかし、市の基幹収入である市民税は、個人の場合は 22 年の所得税額、法人の場合は前事業年度の法人税額にそ

れぞれ、一定の割合をかけて、額が決まっ
てきます。

ですから、個人の場合は全員、法人もこ
の 3 月以前に決算をおこなった会社の税
額については、震災の影響を考慮する必
要はありません。

● 本当に必要？ 超ミニ緑地が大量発生。

平成 19 年 12 月に「人にやさしいまち
づくり条例」ができて以来、同条例にもとづ
く寄付公園・緑地が 11 か所になったことが
議会の審議の中でわかりました。

西東京市では、一定規模以上の開発
行為(たとえば500平方メートルを超える農
地を整地し、戸建住宅やマンションを建設
する、など)をおこなう場合、開発面積の
3%(3000 平方メートルを超える開発では
6%)にあたる土地を、公園もしくは緑地と
して現物を市に寄付するか、金銭に換えて

以上の理由で、今年度については、震災
の影響による市民税収入の大幅減は考え
にくく、実際にこの 9 月でも、個人市民税に
おいて 2 億 4000 万円、1.8%の小幅な減額
補正をおこなうにとどまりました。

ただし、来年度は、震災の影響が出ると
思われます。

納付するかの、いずれかを選択しなけれ
ばなりません。

この条例にしたがって、11 か所の公
園・緑地ができたわけですが、もっとも小さ
い緑地は、30.15 平方メートルしかありま
せん。

標準的戸建て住宅の面積が 100 平方メ
ートルですから、いかに緑地としてはミニ
サイズか、わかります。

緑地というと、木陰で休憩というイメージ
を私は持っていますが、それとは程遠く、
とても休憩できるような場所ではありません。
あまり利用価値がないのに、雑草だけ
が生い茂り、見た目もきれいとは言えない
緑地もあります。

緑地は必要です、しかし、実際には、中
途半端な、あまり市民に歓迎されない超ミ
ニ緑地だけが量産されているのは問題で
す。

陸前高田市へ 災害支援ボランティアに 行きました！

8 月 10 日から 13 日まで、西東京市社
会福祉協議会のボランティアとして、13
名の市民のみなさんとともに、陸前高田
市へ行って来ました。

現地では、岩手県住田町にあるボラン
ティアが無料で泊まることのできる施
設に宿泊し、全国からの集まったボラン
ティアとお話しました。

保谷なおみ後援会事務所

〒202-0013 西東京市中町 4-2-18

Tel 042-453-1104

Fax 042-422-0104

ホームページ <http://houya703.net>

ブログ <http://houya703.sblo.jp/>

● 決算特別委員会 はなバス運行補助金1億300万円は 近隣市と比べ、突出して高い！

22年度のはなバス運行補助金は約1億300万円でした。

これは、八王子市の3900万円、立川市の4700万円と比べても、市の面積を考慮すると、突出して高いです。三鷹市にいたっては、1100万円と、西東京市の10分の1に過ぎません。

今年度中に調査を行い、見直し作業にはいるという答弁がありました。

ルート設定や料金の見直しを行い、収益率を高め、補助金頼りの運行体制を改善すべきと意見しました。

保谷なおみの一般質問

公共施設の適正配置について

質問 現在公共施設の適正配置の基本計画の策定を進めているが、適正配置のイメージが明確でない。市の東西の骨格となる道路を整備し、その道路に面して主要な公共施設を配置していくべきだと思う。それには、都市計画マスタープラン、総合計画とも整合性を図る必要があるのではないかと。

答弁 整合性を図っていきたい。

訪問看護利用料助成の導入について

質問 介護保険で訪問看護を利用する場合、利用料の一部を公費助成する方向で検討を始めていると聞かすが、検討にいたった経緯をお伺いする。

答弁 訪問看護は、重度の要介護高齢者が在宅生活を営む上で、かぎとなるサービスと認識している。利用料金が高額なので、助成で利用者の負担減をはかりたいと考えている。

その他の質問項目

発達障害児支援について

千駄山広場の今後について

婚活支援について

近況報告

昨年末の選挙で当選してから、まもなく一年を迎えます。

新人の方、若い方が西東京市議会に増え、数年前とは様変わりです。しかし、1期目も10期目も議員報酬は一緒です。

2期6年の経験を生かし、さらに勉強も重ね、議員活動を充実させていきたいと思っております。

